

2020. 2. 5 <計2枚>

京都大学記者クラブ加盟社 各位

立命館大学広報課

災害からの復興や災害に備えることについて、わたしたちにできることを考える

東日本大震災追悼企画「いのちのつどい」を開催

日時：2020年2月11日（火・祝）13:00～17:00

場所：立命館朱雀キャンパス 1階 多目的室1

立命館災害復興支援室（室長：建山和由常務理事）は、3.11追悼企画「いのちのつどい」を開催いたします。

震災から9年が経過し、被災地が少しずつ復興への歩みを進めるなか、本学では、今も多くの学生・教職員が復興支援活動に取り組んでいます。震災があった翌年から毎年3月に、「いのちのつどい」と題し、復興支援の現状や活動を通して感じたことを発信する場を設けています。

今年は、「3.11震災から10年目を見据えた復興支援の在り方について」をテーマに、災害関連の取り組みに携わってきた教員が今後の取り組みの展望や課題について発信するシンポジウムやパネルディスカッション、災害復興支援活動に参加したことがある学生・教職員による「災害からの復興とわたしたちにできることを考える」をテーマとしたワークショップを実施いたします。

記

日時：2020年2月11日（火・祝）13:00～17:00（受付 12:30～）

場所：立命館朱雀キャンパス 1階 多目的室1

申込み：事前WEB申込（定員60名）<https://ws.formzu.net/dist/S41372788/>

参加費：無料

内容：シンポジウム・パネルディスカッション

〔登壇者〕丹波史紀（立命館大学産業社会学部准教授・災害復興支援室副室長）

大谷哲弘（立命館大学産業社会学部教授）

村本邦子（立命館大学人間科学研究科教授）

山口洋典（立命館大学共通教育推進機構准教授）

学生・教職員によるワークショップ

※詳細は別紙をご参照ください。

主催：立命館災害復興支援室

以上

●取材・内容についてのお問い合わせ先 ※取材をご希望の場合は前日までにご連絡ください。

立命館大学広報課 担当：田中

TEL.075-813-8300 FAX:075-813-8147

<http://www.ritsumei.ac.jp/>

別紙

■「いのちのつどい」プログラムについて ※内容は変更になる場合がございます。

13:00-13:05 開会挨拶

丹波 史紀（災害復興支援室副室長）

13:05-14:30 シンポジウム 「3.11 震災から 10 年目を見据えた復興支援の在り方について」

〔登壇者・テーマ〕（各 20 分程度）

丹波 史紀 「ふくしまから考える。震災復興支援」

大谷 哲弘 「岩手県における東日本大震災後の児童生徒への心理的支援の原則と取り組みの過程」

村本 邦子 「被災と復興の「証人(witness)」となるとはどういうことだったのか？」

山口 洋典 「復興支援の「ために」から地域振興を「ともに」～被災者・未災者交歓の視点」

* 14:30-14:45 休憩

14:45-15:25 登壇者 4 名によるパネルディスカッション・会場質疑

* 15:25-15:40 休憩

15:40-16:50 ワークショップ 「災害からの復興とわたしたちにできることを考える」

〔参加者〕 学生・教職員、他当日参加者

〔ファシリテーター〕 山口 洋典

16:50-17:00 閉会挨拶

建山 和由（災害復興支援室長）

< 今年のシンポジウムの様子 >



立命館災害復興支援室について

2011 年 4 月開設。被災学生の経済的支援、ボランティア活動の窓口、被災地域からの支援要請に対する窓口や学生のボランティア派遣、教員による教育・研究活動へのサポート、情報発信、その他災害時の支援方針の策定などにも取り組む。

●立命館災害復興支援室 HP <http://www.ritsumeai.ac.jp/fukkor/>